

令和2年度

# 政策提言書

令和2年11月20日

那須町議会

## 政策提言書

那須町議会では、自らの活動状況を広く町民にご理解いただくため、毎年各地区において議会報告会を開催し、併せて町民との意見交換を行ってまいりました。

しかし、本年は新型コロナウイルス感染症が国内はもとより全世界に蔓延し、町議会においても議会報告会を中止するなど議会活動にも大きな影響を与えられました。

今年度においては、経済四団体や教育関係者等との意見交換を実施しました。

また、町ホームページなどを通し町民からの意見聴取も併せて行いました。

感染症対策で、町財政面でも厳しい中ではありますが、地方自治における二元代表制のもと町民の声を代弁する議会としましても、持続可能なまちづくりを推進するため重要な政策に関し提言することといたしました。

つきましては、町長をはじめ執行部におかれましては、本提言が那須町議会の総意の下にまとめたものであることを受け止め、政策に反映されるよう強く要望いたします。

那議第107号

令和2年11月20日

那須町長 平山 幸宏 様

那須町議会議長 薄井 博光

令和2年度 政策課題・提言（総務産業常任委員会）

1 道の駅那須高原友愛の森について	
課題	那須高原友愛の森は、施設ごとに運営主体が別で、道の駅として、全体を見据えた運営が出来ていない。また、直売所については未だに品切れの状態が解消されていない。更に、直売所は狭く常に密集している状況である。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営は管理能力、企画力など総合的に優れた会社の体制にすること。</li> <li>・再整備計画については、直売所は拡充し、他の施設は必要最小限にとどめること。</li> </ul>
2 農業公社の運営について	
課題	農業公社は、開設から3年が過ぎたが、周知度の低さから事業内容が町民に理解されていない。また、町から公社に多額の補助金が支出されているが、目玉になるべき事業など成果が得られていない。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業公社の果たすべき役割や事業内容を、広く町民に周知すること。</li> <li>・特に主要事業である町民農園事業、農地集積促進事業、新規就農受け入れ事業等の達成率を高めること。</li> </ul>
3 企業誘致の新たな取り組みについて	
課題	那須町は、サテライトオフィスやワーケーション候補地として地理的条件、周辺環境状況から大きな潜在力を有している。そのため、都市機能分散の取り組みが目されるこの時期を逃さず企業誘致活動及び、雇用の創出を図る政策をいち早く進める必要がある。
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サテライトオフィス、ワーケーションなど企業誘致に関し、戦略的に進める体制を整備すること。また、窓口を一本化すること。</li> <li>・積極的な情報発信、情報取得体制を構築すること。</li> <li>・誘致企業に対し、各種支援策、税等の優遇策を講じること。</li> </ul>

令和2年度 政策課題・提言（民生文教常任委員会）

1 学校の新型コロナウイルス感染症対策について	
課題	<p>学校の新型コロナウイルス感染症対策について、国が示す「学校の新しい生活様式」を取り入れた対策が必要である。</p> <p>人数が多いクラスは、特別教室を使って2クラスに分けることになるが、対象となる特別教室にはエアコンが設置されていない。</p>
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通教室としての使用が想定される特別教室については、エアコンを来年夏までに設置すること。</li> </ul>

2 不登校対応について	
課題	<p>不登校児童生徒数が全国的に増加している。当町においても不登校児童生徒が増えており、その予防及び支援が急務となっている。</p> <p>不登校児童生徒のため、学校を安心できる場所にすることや、教育相談室の教育環境を整える必要がある。</p>
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒が増える傾向にある学年には、優先的に学習生活支援員を配置すること。</li> <li>・スクールソーシャルワーカー等の拡充を行い、更なる有効活用を図ること。</li> <li>・不登校児童生徒の通室の利便性を高めるため、教育相談室を新たに那須中学校区内にも設置すること。また、現在の老朽化した教育相談室の環境改善を図ること。</li> <li>・不登校児童生徒の学習支援のため、オンラインでの授業参加が出来る環境を整えること。</li> </ul>
3 子供の安全対策について	
課題	<p>子供の安全を守るため、保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）の防犯体制を強化する必要がある。</p> <p>また、地域ぐるみで登下校時の子供の安全を守る意識を高める必要がある。</p>
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校には防犯カメラが一部設置されているが、保育園、小中学校の周辺や通学路（交差点など）にも設置すること。</li> <li>・登下校時の「ながら見守り」活動の啓発を図り、地域による見守り意識を高めていくこと。</li> </ul>
4 ICT教育の推進について	
課題	<p>今年度、タブレット一人1台体制が整うが、更に効果的なICT教育を推進するため、教育環境を整備する必要がある。</p>
提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTや電子教科書を活用した授業への転換を図ること。</li> <li>・タブレットの有効活用を図るため、電子黒板を各クラスに配備すること。</li> <li>・児童生徒や教員がICTを活用出来るようにサポート体制を整備すること。</li> <li>・タブレットのブルーライトから目を守る対策を行うこと。</li> <li>・児童生徒や保護者と教員とのコミュニケーションツールとしてタブレットの活用も図ること。</li> <li>・町立図書館に電子書籍を整備し、利用できる体制を作ること。</li> </ul>